

大規模水害対策に関するアンケート

ご回答者についてお伺いします。

右側の記入例を参考に、回答者についてそれぞれご記入ください。【必須】

都道府県名：

市区町村名： 例)横浜市西区 など

部署名： 例)河川課 など

役職名： 例)係員 など

ご記入者名： ※姓名の欄は空けず全括

ご連絡先【TEL】： 例)0312345678 ※半角数字、-(ハイフン)は不要

【FAX】： 例)0312345678 ※半角数字、-(ハイフン)は不要

【e-mail】： ※半角英数

1. 本庁舎等に関する調査

【Q.1】浸水危険性に対する意識について

【Q.1-1】災害対策本部を設置予定の庁舎(以下、「本庁舎等」と言う。)が浸水する危険性がありますか。(ひとつだけ)【必須】

- 1. 浸水の危険性がある
- 2. 浸水の危険性はあるが、浸水深はわからない
- 3. 浸水の危険性はない
- 4. わからない

【Q.1-2】本庁舎等の浸水危険性の程度についてお答えください。(ひとつだけ)【必須】

- 1. 床下浸水
- 2. 1階の床上浸水
- 3. 2階の床上浸水
- 4. 3階以上の床上浸水

【Q.1-3】【Q.1-1】で「浸水の危険性がある」と判断した根拠(浸水条件・状況)についてお答えください。(いくつでも)【必須】

*空欄には、該当する数値あるいは文字をご記入ください。

- 1. 川のハザードマップまたは浸水想定区域図の結果
- 2. mmの降雨時の浸水予測値
- 3. 所在地の浸水被害に関する既往最大値
- 4. 所在地以外の水位等の既往最大値(「伊勢湾台風」時の潮位を参考 等)
⇒ 根拠としている具体的な水位等：
- 5. その他 ⇒ 具体的に：

【Q.1-4】前問(Q1-1)で「浸水の危険性はない」と判断された根拠をご記入ください。【必須】 ※全角500文字以内

【Q.2】本庁舎等の水害対策の現状について

【Q.2-1】本庁舎等の浸水被害を回避・軽減するための対策を実施していますか。(ひとつだけ)【必須】

1. 実施している
 2. 実施していない

【Q.2-2】本庁舎等に対して実施している水害対策は何ですか。(いくつでも)【必須】

1. 土のうの配備
 2. 止水板の配備
 3. 防水壁の整備
 4. 止水扉の整備
 5. 地盤の嵩上げ
 6. 建物のピロティ構造化

7. その他 ⇒ 具体的に：

【Q.2-3】本庁舎等の現在の水害対策の実施をご判断された根拠(浸水条件・状況)についてお答えください。(いくつでも)【必須】

* 空欄には、該当する数値あるいは文字をご記入ください。

1. 川のハザードマップまたは浸水想定区域図の結果
 2. mmの降雨時の浸水予測値
 3. 所在地の浸水被害に関する既往最大値
 4. 所在地以外の水位等の既往最大値(「伊勢湾台風」時の潮位を参考 等)
⇒根拠としている具体的な水位等：

5. その他 ⇒ 具体的に：

6. 特に具体的な浸水条件については考慮していない

【Q.2-4】本庁舎等において今後予定している水害対策の実施をご判断された根拠(浸水条件・状況)についてお答えください。(いくつでも)【必須】

* 空欄には、該当する数値あるいは文字をご記入ください。

1. 川のハザードマップまたは浸水想定区域図の結果
 2. mmの降雨時の浸水予測値
 3. 所在地の浸水被害に関する既往最大値
 4. 所在地以外の水位等の既往最大値(「伊勢湾台風」時の潮位を参考 等)
⇒根拠としている具体的な水位等：

5. その他 ⇒ 具体的に：

6. 新たな水害対策を実施する予定は当面無い

【Q.3】本庁舎等に設置している重要設備の水害対策の現状について

【Q.3-1】重要設備の浸水被害を回避・軽減するための対策を実施していますか。(ひとつだけ)【必須】

1. 実施している
 2. 実施していない

【Q.3-S.2】対象としている重要設備と水害対策の内容についてお答えください。

※以下の「説明ページをひらく」をクリックしていただき、記入例をご参照の上、ご回答ください。

[説明ページをひらく](#)

1. 重要設備(対策内容が同じ施設は複数ご記入ください。)

2. 対策の内容(該当するものすべて)

- 1. 土のうの配備
- 2. 止水板の配備
- 3. 防水壁の整備
- 4. 止水扉の整備
- 5. 地盤の嵩上げ
- 6. 建物のピロティ構造化

7. その他 ⇒具体的に:

3. 前提とした浸水原因(該当するものすべて)

※空欄には、該当する数値あるいは文字をご記入ください。

- 1. 川のハザードマップまたは浸水想定区域図の結果
- 2. mmの降雨時の浸水予測値
- 3. 所在地の浸水被害に関する既往最大値
- 4. 所在地以外の水位等の既往最大値(「伊勢湾台風」時の潮位を参考 等)

⇒根拠としている具体的な水位等:

5. その他 ⇒具体的に:

6. 特に具体的な浸水条件については考慮していない

4. 対策内容が異なる施設が他にありますか。

- 1. ある
- 2. ない

【Q.3-S.3】対象としている重要設備と水害対策の内容についてお答え下さい。

1. 重要設備(対策内容が同じ施設は複数ご記入ください。)

2. 対策の内容(該当するものすべて)

- 1. 土のうの配備
- 2. 止水板の配備
- 3. 防水壁の整備
- 4. 止水扉の整備
- 5. 地盤の嵩上げ
- 6. 建物のピロティ構造化

7. その他 ⇒具体的に:

3. 前提とした浸水原因(該当するものすべて)

*空欄には、該当する数値あるいは文字をご記入ください。

- 1. [] 川のハザードマップまたは浸水想定区域図の結果
- 2. [] mmの降雨時の浸水予測値
- 3. 所在地の浸水被害に関する既往最大値
- 4. 所在地以外の水位等の既往最大値(「伊勢湾台風」時の潮位を参考 等)
⇒根拠としている具体的な水位等: []
- 5. その他 ⇒ 具体的に: []
- 6. 特に具体的な浸水条件については考慮していない

4. 対策内容が異なる施設が他にありますか。

- 1. ある
- 2. ない

【Q.3-S.4】対象としている重要設備と水害対策の内容についてお答え下さい。

1. 重要設備(対策内容が同じ施設は複数ご記入ください。)

[]

2. 対策の内容(該当するものすべて)

- 1. 土のうの配備
- 2. 止水板の配備
- 3. 防水壁の整備
- 4. 止水扉の整備
- 5. 地盤の嵩上げ
- 6. 建物のピロティ構造化
- 7. その他 ⇒具体的に: []

3. 前提とした浸水原因(該当するものすべて)

*空欄には、該当する数値あるいは文字をご記入ください。

- 1. [] 川のハザードマップまたは浸水想定区域図の結果
- 2. [] mmの降雨時の浸水予測値
- 3. 所在地の浸水被害に関する既往最大値
- 4. 所在地以外の水位等の既往最大値(「伊勢湾台風」時の潮位を参考 等)
⇒根拠としている具体的な水位等: []
- 5. その他 ⇒ 具体的に: []
- 6. 特に具体的な浸水条件については考慮していない

4. 対策内容が異なる施設が他にありますか。

- 1. ある
- 2. ない

【Q.3-S.5】対象としている重要設備と水害対策の内容についてお答え下さい。

1. 重要設備(対策内容が同じ施設は複数ご記入ください。)

[]

2. 対策の内容(該当するものすべて)

- 1. 土のうの配備
- 2. 止水板の配備
- 3. 防水壁の整備
- 4. 止水扉の整備
- 5. 地盤の嵩上げ
- 6. 建物のピロティ構造化

7. その他 ⇒具体的に:

3. 前提とした浸水原因(該当するものすべて)

* 空欄には、該当する数値あるいは文字をご記入ください。

- 1. 川のハザードマップまたは浸水想定区域図の結果
- 2. mmの降雨時の浸水予測値
- 3. 所在地の浸水被害に関する既往最大値
- 4. 所在地以外の水位等の既往最大値(「伊勢湾台風」時の潮位を参考 等)

⇒根拠としている具体的な水位等:

5. その他 ⇒具体的に:

6. 特に具体的な浸水条件については考慮していない

4. 対策内容が異なる施設が他にありますか。

- 1. ある
- 2. ない

【Q.3-S.6】対象としている重要設備と水害対策の内容についてお答え下さい。

1. 重要設備(対策内容が同じ施設は複数ご記入ください。)

2. 対策の内容(該当するものすべて)

- 1. 土のうの配備
- 2. 止水板の配備
- 3. 防水壁の整備
- 4. 止水扉の整備
- 5. 地盤の嵩上げ
- 6. 建物のピロティ構造化

7. その他 ⇒具体的に:

3. 前提とした浸水原因(該当するものすべて)

* 空欄には、該当する数値あるいは文字をご記入ください。

- 1. 川のハザードマップまたは浸水想定区域図の結果
- 2. mmの降雨時の浸水予測値
- 3. 所在地の浸水被害に関する既往最大値
- 4. 所在地以外の水位等の既往最大値(「伊勢湾台風」時の潮位を参考 等)

⇒根拠としている具体的な水位等:

5. その他 ⇒具体的に:

6. 特に具体的な浸水条件については考慮していない

4. 対策内容が異なる施設が他にありますか。

1. ある
 2. ない

【Q.3-S.7】対象としている重要設備と水害対策の内容についてお答え下さい。

1. 重要設備(対策内容が同じ施設は複数ご記入ください。)

2. 対策の内容(該当するものすべて)

1. 土のうの配備
 2. 止水板の配備
 3. 防水壁の整備
 4. 止水扉の整備
 5. 地盤の嵩上げ
 6. 建物のピロティ構造化
 7. その他 ⇒具体的に:

3. 前提とした浸水原因(該当するものすべて)

*空欄には、該当する数値あるいは文字をご記入ください。

1. 川のハザードマップまたは浸水想定区域図の結果
 2. mmの降雨時の浸水予測値
 3. 所在地の浸水被害に関する既往最大値
 4. 所在地以外の水位等の既往最大値(「伊勢湾台風」時の潮位を参考 等)
 ⇒根拠としている具体的な水位等:
 5. その他 ⇒具体的に:
 6. 特に具体的な浸水条件については考慮していない

【Q.4】災害(地震・水害等)を想定とした対応計画の検討状況について

【Q.4-1】本庁舎等が被災した場合に災害対策本部を設置する代替施設を定めていますか。(ひとつだけ)【必須】

1. 代替施設を事前に定めている
 2. 代替施設は事前に定めていない
 3. その他 ⇒具体的に:

【Q.4-2】代替施設の名称と住所をご記入ください。【必須】 ※全角100文字以内

《施設名》

《住所》

【Q.4-3】災害対策本部を設置する庁舎の非常用発電機の設置の有無について、当てはまるものをお答えください。(ひとつだけ)【必須】

1. 設置している
 2. 設置していない

【Q.4-4】燃料の備蓄量から非常用発電機の運転可能な継続時間をご入力ください。【必須】 ※半角数値で入力

時間

2. 避難に関する調査

【Q.5】避難勧告基準について

【Q.5-1】「避難勧告」の基準の有無および地域防災計画への記載についてお答えください。(ひとつだけ)【必須】

1. 明確な基準があり、地域防災計画に記載している
2. 明確な基準があるが、地域防災計画には記載していない
3. 明確な基準は無い

【Q.5-2】「避難勧告」の基準は、どのようなものですか。次の選択肢から近いものを選びお答えください。(いくつでも)【必須】

1. 河川が警戒水位を突破し、洪水が発生するおそれがあるとき
2. 避難判断水位を突破すること
3. 氾濫危険水位を突破すること
4. 各種警報が発せられ、避難の必要があると判断されるとき
5. 河川の上流が被害を受け、下流域に危険があるとき
6. 地すべり、がけ崩れ、土石流等により著しい危険が切迫しているとき
7. その他 ⇒具体的に:

【Q.5-3】客観的数値を用いた避難勧告基準を定めていますか。(ひとつだけ)【必須】

1. 定めている
2. 定めていない

【Q.5-4】避難勧告基準に用いている客観的数値の種類について、当てはまるものをお答えください。(いくつでも)【必須】

* 空欄には、該当する川の名前をご記入ください。

1. 川の水位による基準
2. 雨量による基準
3. その他の基準 ⇒具体的に:

【Q.6】避難指示基準について

【Q.6-1】「避難指示」の基準の有無および地域防災計画への記載についてお答えください。(ひとつだけ)【必須】

1. 明確な基準があり、地域防災計画に記載している
2. 明確な基準があるが、地域防災計画には記載していない
3. 明確な基準は無い

【Q.6-2】「避難指示」の基準は、どのようなものですか。次の選択肢から近いものを選びお答えください。(いくつでも)【必須】

1. 河川が警戒水位を突破し、洪水が発生するおそれがあるとき
2. 避難判断水位を突破すること
3. 氾濫危険水位を突破すること
4. 各種警報が発せられ、避難の必要があると判断されるとき
5. 河川の上流が被害を受け、下流域に危険があるとき
6. 地すべり、がけ崩れ、土石流等により著しい危険が切迫しているとき
7. その他 ⇒具体的に:

【Q.6-3】客観的数値を用いた避難指示基準を定めていますか。(ひとつだけ)【必須】

1. 定めている
2. 定めていない

【Q.6-4】避難指示基準に用いている客観的数値の種類について、当てはまるものをお答えください。(いくつでも)【必須】

* 空欄には、該当する川の名前をご記入ください。

- 1. 川の水位による基準
- 2. 雨量による基準
- 3. その他の基準 ⇒具体的に:

【Q.7】住民への避難勧告・指示の伝達手段についてお答えください。(いくつでも)【必須】

- 1. 広報車による直接伝達
- 2. 役所の職員が個々の世帯に直接伝達
- 3. 町内会組織を通じた個々の世帯への伝達
- 4. 消防署員による伝達
- 5. 地元の消防団・水防団等による伝達
- 6. 防災無線の利用
- 7. FAXによる伝達
- 8. 携帯やパソコンへのメール配信
- 9. 警察への協力要請
- 10. その他 ⇒具体的に:

【Q.8】避難所の浸水対策について

【Q.8-1】浸水危険性のある避難所を把握していますか。(ひとつだけ)【必須】

- 1. 把握している
- 2. 把握していない

【Q.8-2】避難所の水害対策として、どのような対策を実施していますか。(いくつでも)【必須】

- 1. 地震用の避難所と水害用の避難所を区別している
- 2. 浸水危険性のある一部の避難所で止水対策を実施している
- 3. 浸水危険性のある全ての避難所で止水対策を実施している
- 4. 避難所が浸水した場合には、浸水していない上層階を利用する
- 5. その他 ⇒具体的に:

【Q.8-3】避難所に対して実施している止水対策は何ですか。(いくつでも)【必須】

- 1. 土のうの配備
- 2. 止水板の配備
- 3. 防水壁の整備
- 4. 止水扉の整備
- 5. 地盤の嵩上げ
- 6. 建物のピロティ構造化
- 7. その他 ⇒具体的に:

【Q.9】他市区町村への広域避難対策について

【Q.9-1】自市区町村の大半が浸水する恐れがあるなど、他市区町村への広域避難が必要となるような事態を想定していますか。(ひとつだけ)【必須】

- 1. 想定している
- 2. 想定していない

【Q.9-2】ご判断の根拠について具体的にご回答ください。【必須】 ※全角500文字以内

【Q.9-3】他市区町村との広域避難計画の有無についてお答えください。(ひとつだけ)【必須】

1. 広域避難計画がある
 2. 広域避難計画がない

【Q.9-4】広域避難計画の内容についてお答えください。(いくつでも)【必須】

1. 避難者の受入に関する協定を締結している
 2. 他市区町村からの避難者の受入施設を予め指定している
 3. 自市区町村の避難者の他市区町村への避難受入施設を指定してもらっている

4. その他 ⇒具体的に:

【Q.9-5】広域避難の誘導體制についてお答えください。(いくつでも)【必須】

1. 具体的な広域避難誘導の手順を記載したマニュアルを用意している
 2. 警察等の他機関と連携した誘導體制を整備している

3. その他 ⇒具体的に:

【Q.9-6】広域避難時の移動手段についてお答えください。(いくつでも)【必須】

1. 住民の自主的な判断に任せており、具体的な移動手段は定めていない
 2. 乗用車の利用も行われると考えている
 3. 徒歩による移動を原則としている
 4. 鉄道、路線バス、タクシー等の交通手段の利用を考えている
 5. 行政によるバス等のチャーターを予定している

6. その他 ⇒具体的に:

【Q.9-7】広域避難時における乗用車の利用についてお答えください。(いくつでも)【必須】

1. 乗用車の利用を規制する
 2. 乗用車の利用を控えてもらうように呼びかける
 3. 特に対応は予定していない
 4. 避難手段として積極的に利用する
 5. 特定の人に限定して、避難手段として積極的に利用する

6. その他 ⇒具体的に:

【Q.9-8】「特定の人」に該当する対象者についてご回答をお願いします。【必須】 ※全角100文字以内

(例)高齢者

【Q.10】浸水危険性が切迫している場合の民間ビル、マンション等の上層階への避難について

【Q.10-1】上層階に避難することを想定していますか。(ひとつだけ)【必須】

1. 想定している
 2. 想定していない

【Q.10-2】上層階への避難について、どのような対策を実施していますか。(いくつでも)【必須】

1. 浸水までに時間的な猶予が無い場合には、ビルやマンション内の人が上層階に避難することを奨励している
2. 浸水までに時間的な猶予が有る場合には、最寄りの避難所への避難を奨励している
3. 浸水までの時間に関わりなく、ビルやマンション内の人が上層階に避難することを奨励している
4. 屋外滞留者の受入について、ビル・マンション管理者と協定を締結している
5. その他 ⇒ 対策内容を具体的に：

※(その他の記入例)避難用ビルの屋上の鍵は、管理人と自治会長が保管し、どちらかが解錠することとしている 等

●アンケートは以上で終了です●

『送信』を押すと回答内容を変更することはできません。
終了してよろしいですか。

宜しければ『送信』ボタンをクリックしてください。

閉じる